

平成二十六年入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章を読んで、(1) 従来の教育改革がもたらしたのは何だと言っているのか、(2) 従来の教育改革に対する筆者の批判、及び筆者が主張する教育改革について、あなた自身の意見を、賛否を明らかにしたうえで、その根拠を具体的な事例を挙げて述べなさい。(解答は八〇〇字以上、一二〇〇字以内とすること)

非公開

非公開

非公開

『世界』編集部編『21世紀のマニフェスト』岩波書店、二〇〇一年、一四四～一四七ページ、抜粋、一部改変

注釈1、最低基準のこと。

平成二十六年入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この小論文の出題意図は、社会科学系学問を専攻するうえで必要な能力を受験生がどれだけ有しているかを見ることにある。まず、文章の内容に即した質問をすることによって、提示された文章を正しく読解できるかを見る。次に、賛否を問うことによって、批判的な思考力の有無を問う。また、具体的な例を挙げさせることによって、社会問題を自らの日常生活と結びつけて考えることができるか、日頃から社会問題に関心を持っているかを見る。そして、解答全体から、自らの主張を論理的に展開する論理性・文章力があるかを判断する。これらは、本学科のアドミツション・ポリシーである①人間社会や社会諸科学への深い関心②柔軟かつ総合的な思考力③主体的に学ぶ意欲を判断するものである。